



## **TONE HAMMER 350**

**ユーザー・ガイド**

## 安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

### マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

**WARNING:**  
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

## 火災・感電・人身障害の危険を防止するには

### 図記号の例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください



## 警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます



- ・ 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ・ 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートของ恐れがあります。
- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。



- ・ 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
  - 電源コードやプラグが破損したとき
  - 異物が内部に入ったとき
  - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。



- ・ 本製品を分解したり改造したりしない。



- ・ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- ・ 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- ・ 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



- ・ 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ ほこりの多い場所で使用や保管はしない。



- ・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- ・ 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- ・ 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・ 本製品に液体をこぼさない。



- ・ 濡れた手で本製品を使用しない。

# 注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性  
または物理的損害が発生する可能性があります



- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。  
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- ・ 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



- ・ 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。  
電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



- ・ 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。  
付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・ 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。  
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・ スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。  
故障の原因になります。
- ・ 外装のお手入れに、ペンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- ・ 不安定な場所に置かない。  
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ・ 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。  
本製品が転倒または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ・ 本製品の隙間に指などを入れない。  
お客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

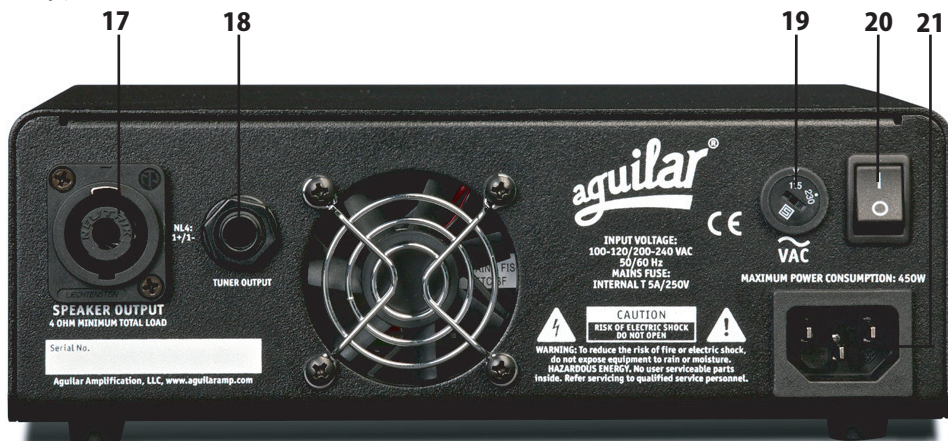
## I. はじめに

この度は Aguilar Tone Hammer350 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
Tone Hammer 350 は既に高い評価を得ている Tone Hammer ペダルのプリ・アンプ部を組み込んだ、超軽量ベース・ヘッド・アンプです。フレキシブルな3バンドEQ、多彩な“Drive”コントロール、そして350ワットのパワーを1.4kgのパッケージに搭載しています。Tone Hammer 350 は、ギグバッグのアクセサリ・ポーチに入るコンパクト・サイズでありながら、伝統的な“Aguilar Sound”を提供します。

## フロント・パネル



## リア・パネル



---

## II. 基本的なセットアップ

入力電圧：100-120/200-240 VAC 入力

50/60 Hz

メインヒューズ：定格電流 5A (T 5A/250V)

最大消費電力：450W

\*日本国内で使用される場合、アンプ背面にある **Input Voltage** スイッチ [19] を 115V に合わせてください。

ご使用のスピーカー・キャビネットとアンプのスピーカー・アウト [17] を、スピコン・スピコン・ケーブルを使用して接続します。(12 ゲージ以上の太さのケーブルを使用してください。)

・このアンプの出力の合計は、使用するキャビネットのインピーダンス値によって異なります。

**8ohm** キャビネット 1 台— 175 ワット

**8ohm** キャビネット 2 台— 350 ワット

**4ohm** キャビネット 1 台— 350 ワット

・付属の電源コードを使用して、**AC 電源** [21] に接続します。

・使用する楽器を **INPUT ジャック** [2] に接続します。

・**MASTER ヴォリューム・ノブ** [9] と **Drive ノブ** [4] を下げた状態で、アンプの**電源** [20] を入れます。下記に従って調整します。

### プリ・アンプ

1. 音を出す際には、**Gain ノブ** [3] を上げてください。

2. 出力レベルが高い楽器を使用している場合は、**-10dB ボタン** [1] を押して、入力バッファがクリッピングするのを避けてください。**-10dB ボタン** [1] は **Input ジャック** [2] の上にあります。このボタンを押すことで、入力信号が 10dB 下がります。

3. **Master ノブ** [9] を必要な音量まで上げてください。

### 保護機能の特徴

Tone Hammer 350 は通常範囲の限度を超える操作をした場合に、アンプがダメージを受けるのを避ける保護回路が装備されています。保護回路には過電流、高熱、DC、高周波の検知が含まれます。もし、これらいずれかの異常信号を検知した場合、アンプは出力を制限するか電源がオフになります。電源がオフになった場合、ただちに再起動を試み、異常が継続しているかを確認します。電源オフの場合、**Operate ランプ** [14] と **Status ランプ** [16] は消灯します。

---

### III. 特徴と機能

#### A. フロントパネル

-10dB ボタン [1] (出力レベルが高い楽器を接続する際にレベルを 10dB 抑えます)

INPUT [2] (インプット・ジャック - ベースを接続します)

#### プリアンプセクション

Treble [8]: +/-14db @ 4kHz

MID LEVEL [5]: +/- 16db

MID FREQUENCY [6]: 180Hz — 1kHz

BASS [7]: +/- 17db @ 40Hz

DRIVE コントロール [4] は GAIN コントロール [3] の位置と連動して、ゲイン構造 (歪み具合) と EQ を変化させます。DRIVE コントロール [4] は EQ を “ ヴィンテージなキャラクター ” にし、設定してある GAIN コントロール [3] に適した EQ 及び歪み具合を調整します。GAIN コントロール [3] を低くセッティングした場合、「フラットな EQ」が適応されます。GAIN コントロール [3] を高くセッティングした場合、低音域はよりタイトに、高音域はより滑らかになります。

Drive 回路はミッド・レンジ (中域周波数) コントロールに強く作用する構造になっており、単純に GAIN コントロール [3]、MID LEVEL コントロール [5]、MID FREQ コントロール [6] を調整するだけで、非常に豊かな音色のバリエーションをもたらします。

Clip ライト [10] が赤く点灯した場合、プリアンプへの入力信号が適正レベルを超えている事 (クリッピング) を示します。クリッピングは、好みに応じて調整することができます。もし、クリーンなサウンドが好みの場合、-10dB ボタン [1]、Gain コントロール [3]、Drive コントロール [4]、各トーン・コントロール [5 ~ 8] を調節しながらお試し下さい。ベースからの出力を含めこれらの設定が、Clip ライトの点灯する頻度に影響します。クリッピングによりアンプがシャットダウンしたり、ダメージを受けたりすることはありません。

---

## D.I セクション

D.I. ノミナル出力レベル：-20dBu

### D.I.Pre/Post ボタン [11]:

**Pre** - -10dB インプット・パッドを通過した信号は、**GAIN[3]**、EQ (**BASS[7]**、**MID LEVEL[5]**、**MID FREQ[6]**、**TREBLE[8]**) コントロールを通らず **D.I. XLR 出力ジャック [12]** から出力されます。

**Post** - 信号は、**GAIN[3]**、EQ (**BASS[7]**、**MID LEVEL[5]**、**MID FREQ[6]**、**TREBLE[8]**)、**MASTER[9]** を通り、**D.I.XLR 出力・ジャック [12]** から出力されます。

**LIFT/GND ボタン [13]** : D.I 端子から出力した際にハム・ノイズが発生する場合、グラウンド・ループが生じている可能性があります。この場合、多くは **LIFT/GND ボタン [13]** を押すとノイズを除去できる場合があります。

\*注意：Tone Hammer 350 は、D.I 端子を通したファンタム電源により損傷を受ける恐れはありません。ファンタム電源はミキシングコンソールの入力チャンネルで電源供給を受け、コンデンサーマイクなどに電源を送るものですが、このアンプではファンタム電源（通常は 48V）を使用しても、D.I. やアンプへの電源供給は行われません。

## B. リアパネル

### スピーカー出力端子 [17]:

1つのスピコン型出力端子を備えています。負荷が合計で 4ohm を超えなければ好きな組み合わせができます。スピコン端子は +1、-1 配線です。

### チューナー出力端子 [18]:

1つの 1/4 インチ・フォーン・ジャック出力端子を備えています。アンプがミュートされていてもチューナーには信号が出力されるようになっています。

### INPUT VOLTAGE セレクター [19]:

INPUT VOLTAGE スイッチでご使用になる環境の電源電圧を選択します。日本国内では 100-120V 用に 115V を選択してください。

日本国外でのご使用については保証の対象外となりますので予めご了承ください。

# アフターサービス

## ■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。  
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。  
なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

## ■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

## ■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。  
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

## ■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

## ■ 修理を依頼される前に

故障かな？とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。  
それでも異常があるときはお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

## ■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

## ■ ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。  
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

## WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan.  
Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

## 株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03 (5355) 5056

● サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12  
TEL: 03(5355)3537

輸入販売元: KORG Import Division  
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2  
WEB SITE: <http://www.korg.co.jp/KID/>

# KORG

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp/>